

1 学校教育目標

志高く 誠実に 夢実現に向け考動できる生徒の育成
やさしく かしこく たくましく

具体的行動目標

○やさしく(友愛)

- ・何事にも誠実に対応できる生徒(素直な心)
- ・心豊かで、他者を思いやることのできる生徒(豊かな心・敬愛)
- ・互いの良さ、個性、多様性を認め合う生徒(人権尊重)

○かしこく(自立)

- ・当事者意識を持って、自ら考え判断し、決定し、行動できる生徒(自律・考動)
- ・他者を尊重し、対話を通して課題解決できる生徒(対話・協働・合意形成)
- ・課題解決のため、ICT 機器等を効果的に活用し、周りと協力し新たな価値を生み出すことのできる生徒(創造・共創)

○たくましく(挑戦)

- ・失敗してもあきらめずに何度でも立ち上がる心の強さを持った生徒(努力・立ち直る力)
- ・一歩踏み出す勇気、目標に向い挑戦できる強い意志を持てる生徒(立志・向上心・勇気)
- ・心身ともに健康で進んで挨拶や掃除ができる生徒(社会性・勤労・心磨き)

2 教育の基本方針 ～教育目標の具現化と特色ある学校づくり～

子どもたち一人一人が、人格の完成を目指し、個人として自立し、それぞれの個性や能力を伸ばし、その可能性を開花させるための基礎を培うことが学校教育の役割と認識し、学習指導要領の目指す人間像を基盤に据え、県教育委員会の「教育の目標」「学校教育における指導の努力点」「学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ」及び宜野湾市の「学校における指導の努力点」を踏まえて、学校に対する保護者や地域の信頼を確かなものにするよう教育活動を展開する。教師の発想を豊かにし、常に教育者として生徒の立場を理解し、特別支援教育の理念を踏まえ、厳しさの中にも優しさをもって支援する。

- (1) 教育目標の具現化に向けて、あらゆる機会、場所において全職員が一致協力して支援する。
- (2) 生徒一人一人の可能性を信じて、各々の特性や能力を伸ばすと共に、心豊かな人間性と「生きる力」の育成に努める。
- (3) 学習の目的を自覚し、自ら計画を立て、実践できるように支援する。
- (4) 受容の姿勢で話を聞き、相手の立場を理解し、正しい応答ができるように支援する。
- (5) 研修は教師の使命であることを自覚し、絶えず研究と修養に努め、深化充実させる。

3 経営方針

「健康・信頼・協働を基調とする明るい活力ある学校をめざす」

～ 学校・家庭・地域による地域協働学校(コミュニティ・スクール)の推進を通して ～

- (1) 和をモットーに、心のふれあいを大切にし、生徒・保護者・地域社会から信頼される地域と共にある Well-being (ウェルビーイング)な学校づくりを推進する。
- (2) 職務の分担は公平で、各教師の専門性を生かし、適材適所に配置し、それぞれの創意と工夫を大事にして、絶えず前進する学校を目指す。
- (3) 学年経営や学級経営及び教科経営の充実を図る。
- (4) 生徒会活動の活性化を図り、学級・学年・学校全体の連携を強化し充実を図る。
- (5) 校内研修を活発にし、生徒理解や指導方法の工夫改善による資質・能力の向上に努め、生徒一人一人が成就感と達成感を味わい、学ぶ喜びを持てるようにする。
- (6) 調和のとれた教育課程を編成し、計画性のある教育活動の完全実施に努める。
- (7) 学校、家庭、地域が連携を密にし、PTA活動の活性化を図り、生徒の全面的発達に努める。
- (8) 関係機関と積極的に連携し、生徒の健全育成に努める。
- (9) 学校と地域が双方向に開かれ、コミュニティ・スクールを中心とした特色ある学校づくりを推進する。
- (10) 日々の教育活動が、生徒一人一人の主体的な行動力(Agency: エージェンシー)へと転化できる教育を推進する。
- (11) 自校の良さを認識させ、更により良い校風づくりに励もうとする支持的風土づくりを推進する。
- (12) 総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行う時間と位置づけ、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することをに組み込む。
- (13) 地域人材を積極的に教育活動に活用する。
- (14) 沖縄県「みんなの学校!ピースフルプラン」、宜野湾市「業務改善アクションプラン」に則り、働きやすく働きがいのある職場づくりを推進する。

4 本年度の重点目標

夢や希望を持ち、主体的に日々活動する生徒の育成

- (1) 支持的風土(安心・所属・承認・自立)に基づいた学校運営(居場所づくり・絆づくり)
- (2) 生徒指導4つのポイントを生かした日々の授業実践
- (3) 対話、協働を軸とした「主体的で対話的な深い学び」の視点に基づく授業改善
- (4) 特別支援教育の視点に基づいた生徒理解
- (5) 学級活動と連動した生徒会活動の充実(自治意識の醸成)
- (6) 教育活動全体を通して清掃指導の徹底と挨拶の奨励

5 取組事項

(1)確かな学力の育成

- ①「しっかりと教える」「じっくり考え、させてみる」「たっぷり価値づける」の実践
- ②個に応じたきめ細かな指導の充実(「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実)
- ③授業における評価を生かした指導の充実(指導と評価の一体化)
- ④授業と宿題(予習)をリンクさせた家庭での学習の充実(自学自習力の育成)
- ⑤各種検定の奨励
- ⑥学校図書を活用した読書指導

(2)豊かな心と健やかな体の育成

- ①人間関係づくりの力を育む取組の充実
 - ア ボランティア活動及び多様な人材との交流活動を行う。
 - イ 道徳教育・人権教育・平和教育の充実
 - ウ 異文化体験などを通じた国際理解教育等の充実
- ②自己の将来の生き方を考える指導の充実
 - ア 進路指導の充実(夢や希望の育成を図る:学ぶことに意欲を持たせる)
 - ・職場見学、3日間の職場体験学習(キャリア・スタートウィーク)等を生かした指導
 - ・結-ENを活用し、生徒自ら自分の良さや可能性を認める力の育成
 - イ 教育相談の充実
 - ・教育相談週間の実施により、初期対応等を充実させ、新たな不登校を生まない取り組みの充実
- ③生活との関連を図った健康づくりの充実
 - ア 保健、食に関する指導
 - ・食育(朝食を食べよう運動・偏食をなくす運動)の推進
 - ・健康観察、健康診断、生活実態等を踏まえ、発達段階に応じた指導を実施する。
 - イ 安全に関する指導
 - ・地域の実状を踏まえた学校安全計画に基づき、日常的な安全指導及び生徒の危機回避能力を育成する。
 - ・地域とともに、学校安全の取り組みの充実を図る。
- ④日常的な運動、遊びをとおした体力づくりの充実
 - ア 健康と体力の向上を図る指導:学ぶことに根気強さを持たせる。
 - ・体力テスト、泳力調査の結果を踏まえ個人の目標を持たせるなど工夫する。
 - ・学校、家庭、地域社会において、運動・スポーツの日常化を図り、生徒一人一人の健康と体力の向上に努めるとともに、忍耐力や持久力などの強い意志力を育成する。

(3)基本的な生活習慣の形成

- ①生活リズムの確立
 - ア 規則正しい生活習慣の形成
 - ・学校、家庭、地域が連携して、早寝、早起き、朝食、夕食、登下校時間等の生活リズムを確立する。
- ②規範意識・マナーの育成
 - ア あいさつをする、きまりを守る、命を大切にする指導
 - ・「あいさつをする」「他人に迷惑をかけない」「いじめをしない・させない」等の指導の充実
 - イ 身の回りの整理整頓や自他の物(公共物)を大切にする指導

6 本校の一事徹底

『時を守り、場を清め、礼を正す』・・・心を磨く

- 「時を守り」とは
時間を守ることは、相手を尊重し、信用を積み重ねることにつながる。「授業を守る」、「学校行事を守る」、「部活動を守る」、「みんなの時間(学習の保障)を守る」ことである。信頼関係の原点である。
- 「場を清め」とは
清掃を徹底すること、美しい環境を保つことは、心磨きの原点である。
- 「礼を正す」とは
自ら挨拶することは、これから社会に出て活躍するために必要な人間関係の原点である。